

第37回全国選抜高校テニス大会  
出場校一覧(男子)

地区	県名	出場校		
北海道 (3)	北海道	①札幌藻岩【35回目/26年連続】②北海道尚志学園【2回目/2年連続】 ③札幌西【初出場】		
東北 (3)	青森			
	岩手	①岩手【14回目/3年連続】		
	宮城			
	秋田			
	山形	②日大山形【9回目/3年連続】		
関東 (11)	福島	③福島東【3回目/4年ぶり】		
	茨城			
	栃木	⑤足利工大付【16回目/3年連続】		
	群馬	⑥共愛学園【2回目/3年ぶり】⑪太田【4回目/7年ぶり】		
	埼玉	⑦川越東【5回目/4年連続】⑩浦和学院【26回目/2年連続】		
	千葉	①東京学館浦安【14回目/12年連続】④秀明八千代【6回目/3年連続】		
	東京	②大成【5回目/4年連続】⑨東海大菅生【14回目/3年連続】		
	神奈川	③法政二【15回目/3年連続】⑧慶応湘南藤沢【初出場】		
	山梨			
	新潟	③東京学館新潟【11回目/6年ぶり】		
	北信越 (5)	富山	④富山国際大付【12回目/2年連続】	
石川				
福井		②敦賀気比【12回目/4年ぶり】		
長野		①松商学園【22回目/17年連続】⑤上田【初出場】		
東海 (6)	静岡	⑤浜松市立【5回目/4年連続】		
	愛知	②名古屋経大市邨【10回目/10年連続】③名古屋【27回目/22年連続】		
	岐阜	④岐阜卓商【16回目/5年連続】		
	三重	①四日市工【34回目/12年連続】⑥四日市【2回目/18年ぶり】		
	滋賀	⑦光泉【9回目/7年連続】		
近畿 (7)	京都	②京都外大西【4回目/4年連続】③東山【24回目/12年連続】		
	大阪	④履正社【4回目/7年ぶり】⑤清風【37回目/37年連続】		
	兵庫	①相生学院【6回目/6年連続】⑥甲南【14回目/2年連続】		
	奈良			
	和歌山			
中国 (4)	鳥取			
	島根	②開星【6回目/3年連続】		
	岡山	①岡山理大付【24回目/5年連続】③関西【34回目/15年連続】		
	広島			
四国 (3)	山口	④山口【3回目/34年ぶり】		
	徳島	①城南【8回目/3年連続】③徳島市立【8回目/10年ぶり】		
	香川			
九州 (6)	愛媛	②新田【18回目/2年連続】		
	高知			
	福岡	②柳川【36回目/6年連続】③折尾愛真【5回目/2年連続】		
	佐賀	④龍谷【14回目/3年連続】		
	長崎	⑤海星【21回目/4年連続】		
	熊本			
	大分	①大分舞鶴【15回目/9年連続】		
宮崎				
鹿児島	⑥鳳凰【15回目/13年連続】			
沖縄				
補欠校		高松北(香川)	出場校合計	48校

○内の数字は地区大会順位  
地区の( )内の数は出場校数。

シード校	東京学館浦安(千葉) 四日市工(三重) 相生学院(兵庫) 大分舞鶴(大分)
選手宣誓校	札幌西(北海道・男子)

第37回全国選抜高校テニス大会  
出場校一覧(女子)

地区	県名	出場校		
北海道 (3)	北海道	①札幌清田【31回目/2年連続】②札幌日大【13回目/13年連続】 ③北星学園女【初出場】		
東北 (4)	青森			
	岩手			
	宮城			
関東 (9)	秋田			
	山形	③日大山形【5回目/3年連続】④寒河江【初出場】		
	福島	①日大東北【4回目/2年連続】②磐城桜が丘【5回目/6年ぶり】		
東海 (5)	茨城	⑦東洋大牛久【2回目/10年ぶり】		
	栃木			
	群馬			
	埼玉	①山村学園【5回目/3年ぶり】⑥浦和学院【26回目/4年連続】		
	千葉	③秀明八千代【7回目/7年連続】⑨幕張総合【2回目/4年ぶり】		
	東京	②早稲田実【9回目/4年連続】⑤富士見丘【22回目/9年連続】		
北信越 (5)	神奈川	④湘南工大付【20回目/6年連続】⑧白鷺女【2回目/2年連続】		
	山梨			
	新潟	④新潟第一【4回目/2年連続】		
	富山	⑤富山国際大付【22回目/9年連続】		
近畿 (8)	石川			
	福井	①仁愛女【35回目/35年連続】		
	長野	②松商学園【23回目/21年連続】③須坂【初出場】		
	静岡	②浜松市立【17回目/5年連続】⑤静岡市立【21回目/2年連続】		
	愛知	①愛知啓成【2回目/2年連続】④名古屋経大高蔵【29回目/3年連続】		
中国 (5)	岐阜			
	三重	③鈴鹿【8回目/2年ぶり】		
	滋賀	⑦東大津【初出場】		
	京都	③京都外大西【7回目/7年連続】④同志社女【5回目/2年ぶり】		
	大阪	②城南学園【4回目/2年連続】⑤大商学園【4回目/2年連続】		
四国 (3)	兵庫	①相生学院【3回目/3年連続】⑥夙川学院【28回目/4年ぶり】		
	奈良			
	和歌山	⑧近大和歌山【初出場】		
	鳥取			
九州 (6)	岡山	②岡山学芸館【14回目/11年連続】③山陽女【32回目/4年連続】		
	広島	④美鈴が丘【14回目/2年連続】⑤広陵【初出場】		
	山口	①野田学園【6回目/5年連続】		
	徳島	②城南【初出場】		
	香川	③高松北【20回目/4年連続】		
補欠校	愛媛	①済美【15回目/2年連続】		
	高知			
	福岡			
	佐賀			
	長崎	②九州文化学園【3回目/3年連続】		
	熊本			
	大分	⑥福德学院【7回目/2年ぶり】		
宮崎	④宮崎商【14回目/14年連続】			
鹿児島	③鳳凰【22回目/20年連続】⑤鹿児島純心女【18回目/2年連続】			
沖縄	①沖縄尚学【4回目/2年連続】			
補欠校		折尾愛真(福岡)	出場校合計	48校

○内の数字は地区大会順位  
地区の( )内の数は出場校数。

シード校	山村学園(埼玉) 仁愛女(福井) 愛知啓成(愛知) 沖縄尚学(沖縄)
選手宣誓校	札幌西(北海道・男子)

## 第37回全国選抜高校テニス大会 選考委員会枠選出について

	校名	都道府県名	選考理由
男子	札幌西高校	北海道	昨年100周年を迎えた伝統校。50名の部員が所属し、練習時間が少ない中、工夫し短時間で集中した練習を心がける。個々の部員が自らの課題を設定、それを互いに共有し教え合う学び場として活動している。
	太田高校	群馬	明治30年創立の質実剛健、文武両道をモットーとする県内有数の進学校。これまで群馬県からは、関東地区の厚い壁に阻まれなかなか全国大会に出ることができなかった。今回、地区大会において上位校とも良い戦いをするなど、確実に力をつけている。
	上田高校	長野	創立110年の歴史を持つ伝統校。高校に入ってテニスを始めた生徒が多い。短い練習時間の中、工夫しながら時間を有効に使い県大会で2位に入り、地区大会においても全国大会出場常連校を破る。さらに、今年は、出場することで御嶽山噴火で被害に遭った方々に勇気を与えたい。
	山口高校	山口	140年以上の伝統のある県内有数の進学校。部員数は、41名。県内において実力はトップレベルにある。ジュニアからの経験者もいるが、部全体の底上げのため未経験者の指導にあたるなどしている。部員は部活動と学習活動を両立させながら日々頑張っている。
女子	北星学園女子高校	北海道	中学からの経験者と新たに高校から始めた選手たちと連携し、併設型の学校の特徴を生かした活動を行っている。チームの雰囲気も明るく、澁刺としたプレーが売り。コートが1面しかない環境ながら、全国大会出場の強豪校がひしめく北海道地区において部員一丸となって戦い3位に入る。モットーは「テニスを楽しむ」。
	寒河江高校	山形	創部25年の部。校舎から1 <sup>km</sup> 離れた、テニス部OBやOGが作ったクレーコートで練習を行っている。雪国山形のハンディキャップを克服するため、日々工夫を重ね、努力している。
	近大和歌山高校	和歌山	今年、国体が開催されるため強化を図っている。文武両道の学校。部員の8割が国公立に進学。チームとしては「考えるテニス」を追求している。生徒の自主性を重んじ、それがプレーにも勉強にも生きてくることが信条の学校。
	広陵高校	広島	創部16年目。歴史浅い学校だが、日々一生懸命練習に取り組んでいる。男子は、選抜大会準優勝の経験があり一緒に練習しながら、男子に追いつき追い越せを目標にしている。県内に強豪校が多い中、2位に入る。出場できれば県内の歴史が変わるのではないかと期待する。